

ヨド倉庫

組立説明書

1

SOBU-3057型 (L)・(M)・(H)・(FH)



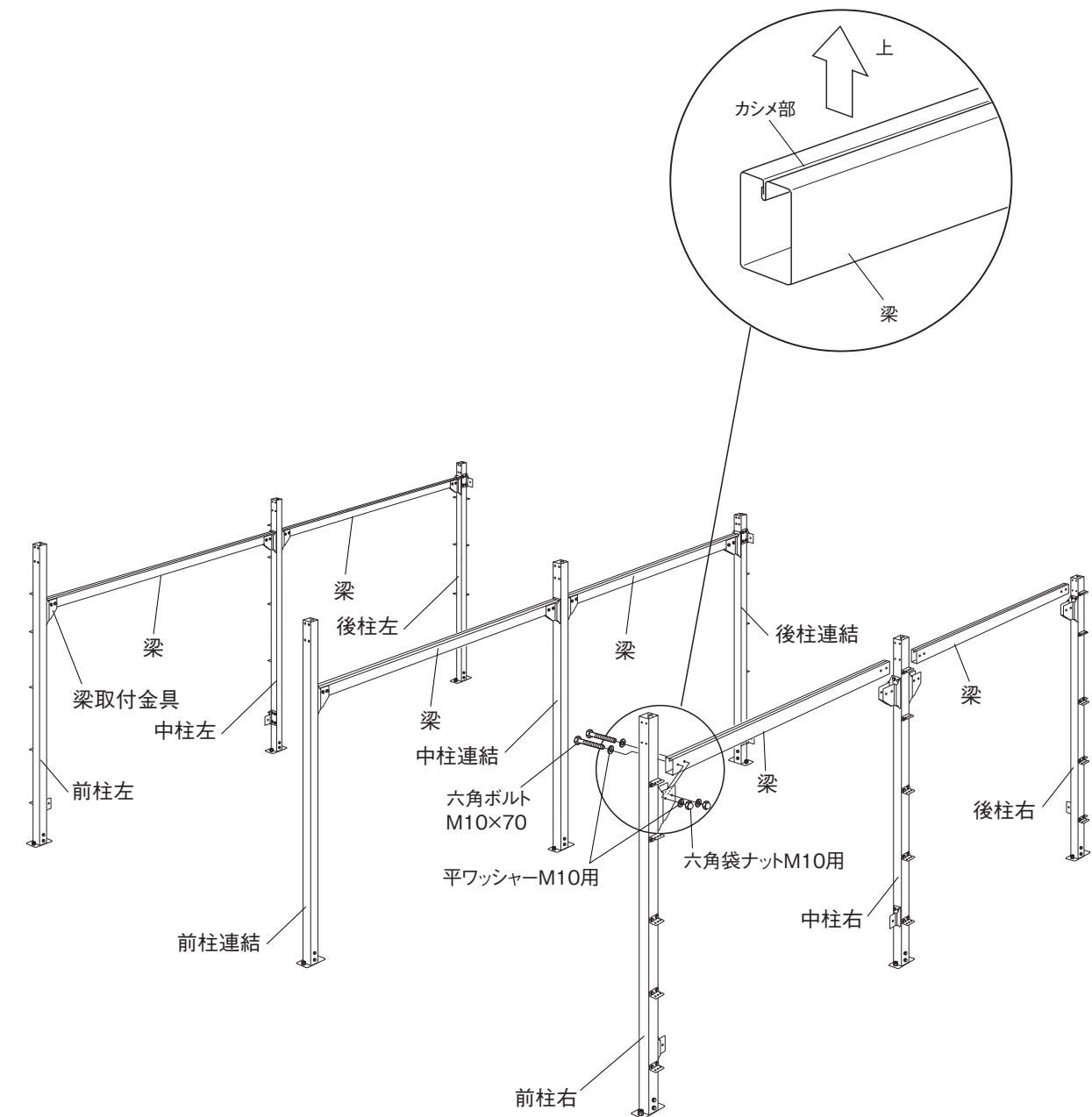
※本説明書はSOBU-3057Mの2連棟を基に説明しております。

※組立説明書Ⅰ・Ⅱの順で組立てください。

4 梁

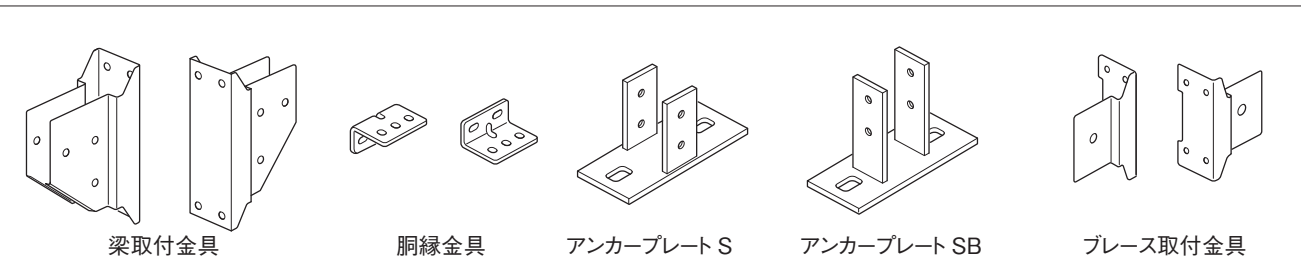
- ①各柱に取付けた梁取付金具の上からカシメ部が上にくるように梁を差込み、庫内側からボルト止めします。
(六角ボルトM10×70、六角袋ナットM10用、平ワッシャーM10用)
※梁は全て共通で梁取付金具がある両端と連結部に入ります。

注意 下屋付きの場合、梁を止める前に前柱に下屋用コーナーカバーと束金具を取付けてください。



1 前工程 (1)

《使用金具一覧》



- ①梁取付金具を柱の上部に取付けます。
(六角ボルトM10×100、六角袋ナットM10用、平ワッシャーM10用)
※**Hタイプの場合は下図と取付位置が異なりますので注意してください。**
(柱の先端より806mm下の位置になります)

- ②胴縁金具を柱のタップに取付けます。
(アプセット六角セムスボルトM8×21)

- ※**下から3段目までは図aのように取付け、4段目からは図bのように取付けます。**

- ③アンカープレートSBを後柱連結に取付け、それ以外の柱にはアンカープレートSを取付けます。
(アプセット六角セムスボルトM10×23、六角ボルトM12×30、平ワッシャーM12用)

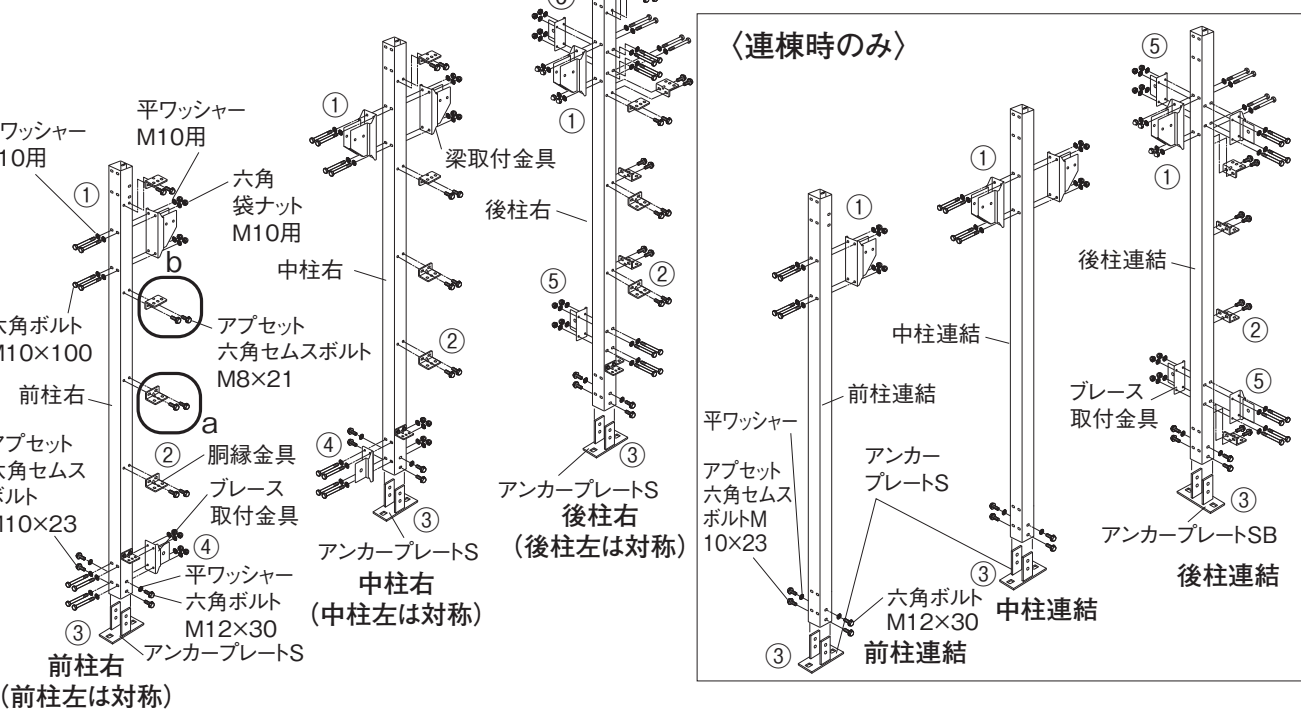
- ④プレース取付金具を図のように前柱右(左)及び中柱右(左)の下部に取付けます。

- (六角ボルトM10×100、六角袋ナットM10用、平ワッシャーM10用)

- ⑤同様に後柱の上下にもプレース取付金具を取付けます。
(六角ボルトM10×100、六角袋ナットM10用、平ワッシャーM10用)

- ※**プレースの付かない所にはプレース取付金具は不要です**

- (**8**)プレースの項目にある配置を確認ください。)



5 桁

注意 Hタイプには、前桁下・前板上が取り付けますので注意してください。

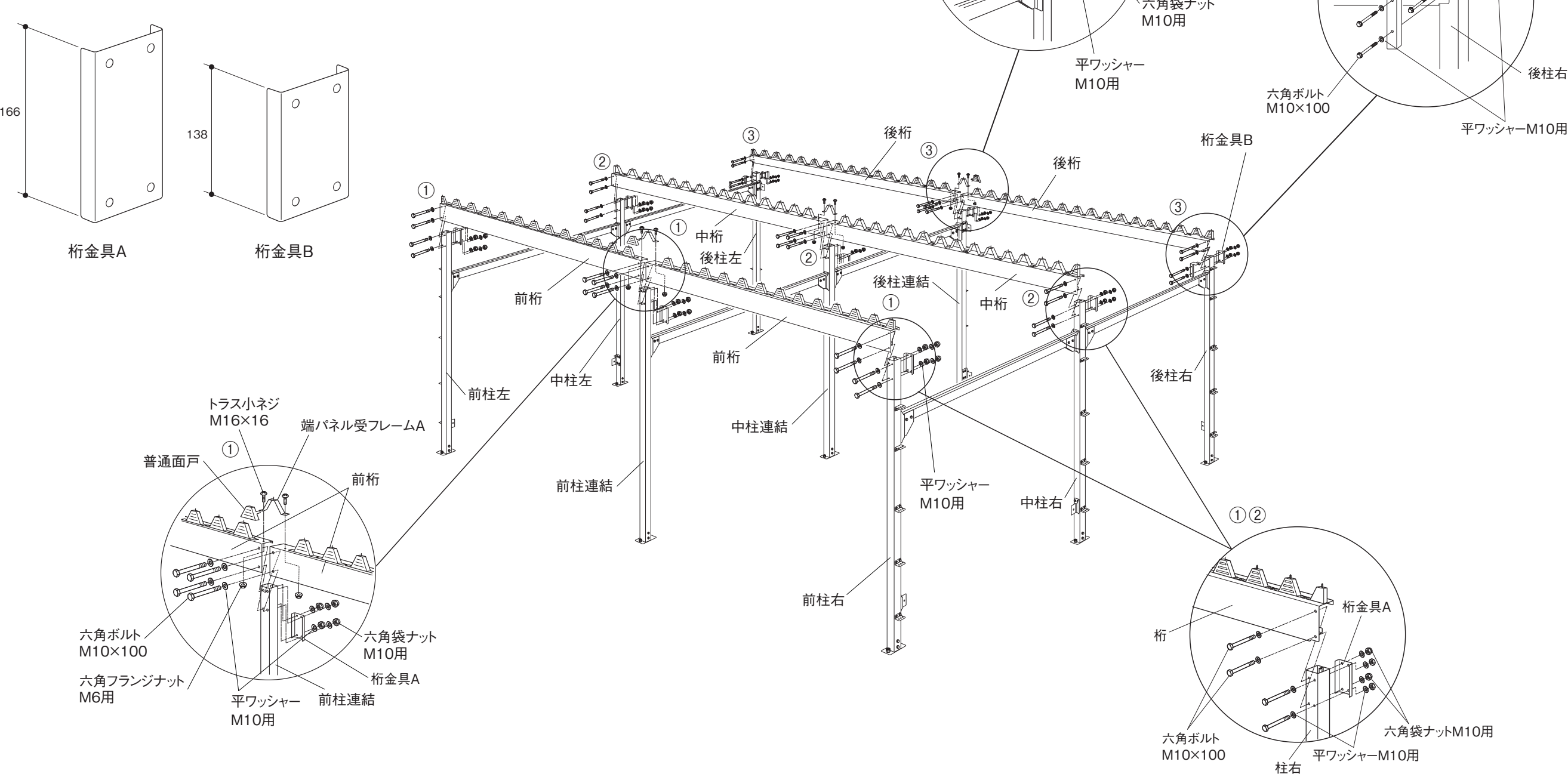
- ①前桁を前柱に仮預けし、桁金具Aと一緒にボルト止めします。
(M10×100六角ボルト、六角袋ナットM10用、平ワッシャーM10用)

- ②中桁を中柱に仮預けし、桁金具Aと一緒にボルト止めします。
(M10×100六角ボルト、六角袋ナットM10用、平ワッシャーM10用)

- ③後桁を後柱に仮預けし、桁金具Bと一緒にボルト止めします。
(M10×100六角ボルト、六角袋ナットM10用、平ワッシャーM10用)

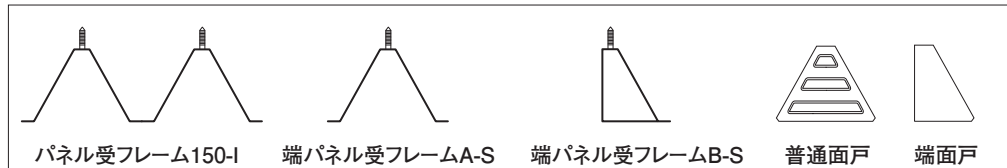
- 後柱の左右については端桁金具を取付けます。

※**連棟の場合は桁の連結部に端パネル受フレームAを取付けます。また、前桁・後桁には面戸も取付けます。**



2 前工程 (2)

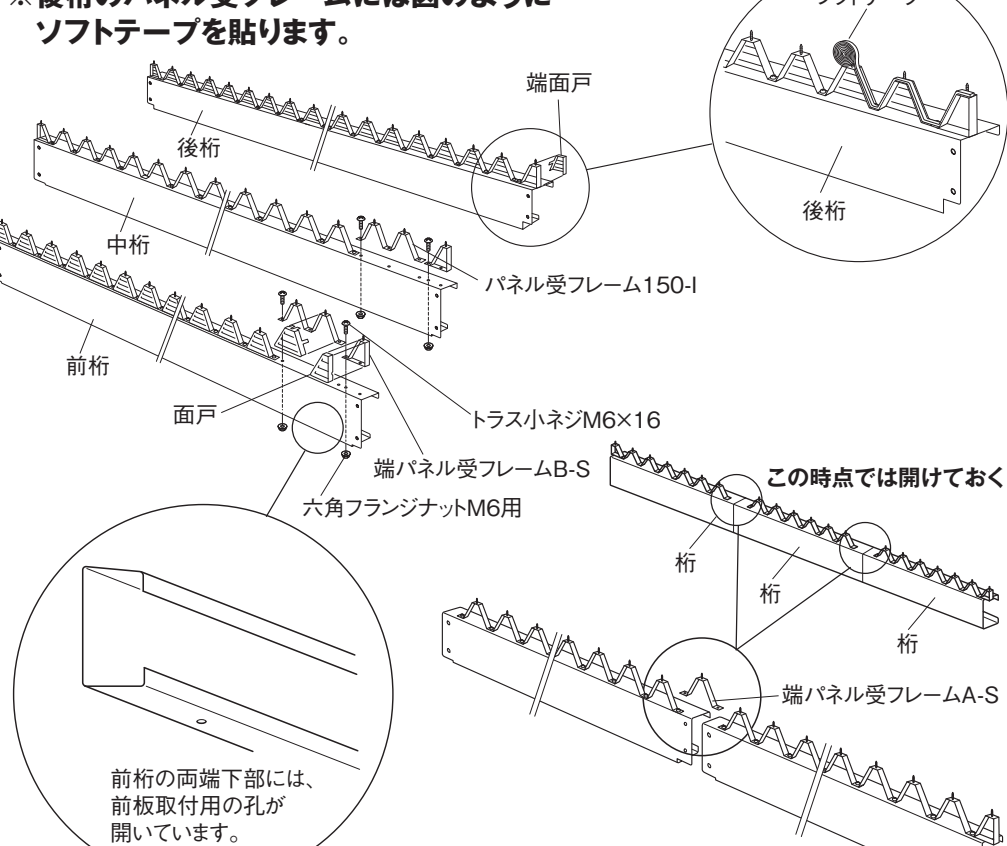
《使用金具一覧》



- ①パネル受フレーム及び端パネル受フレームを桁に取付けます。
(トラス小ネジM6×16、六角フランジナットM6用)

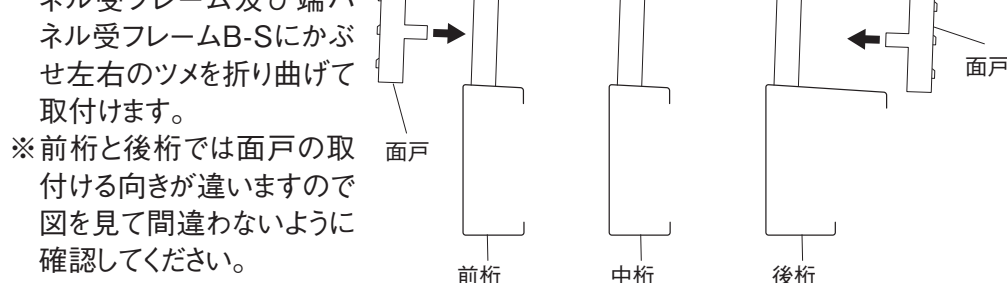
- ※**桁のつなぎ目部分は桁を柱に取付けた後、端パネル受フレームA及び普通面戸を取付けますのでこの時点では取付けません。**

- ※**後桁のパネル受フレームには図のようにソフトテープを貼ります。**



- ②普通面戸及び端面戸をパネル受フレーム及び端パネル受フレームB-Sにかぶせ左右のツメを折り曲げて取付けます。

- ※前桁と後桁では面戸の取付ける向きが違いますので図を見て間違わないように確認してください。

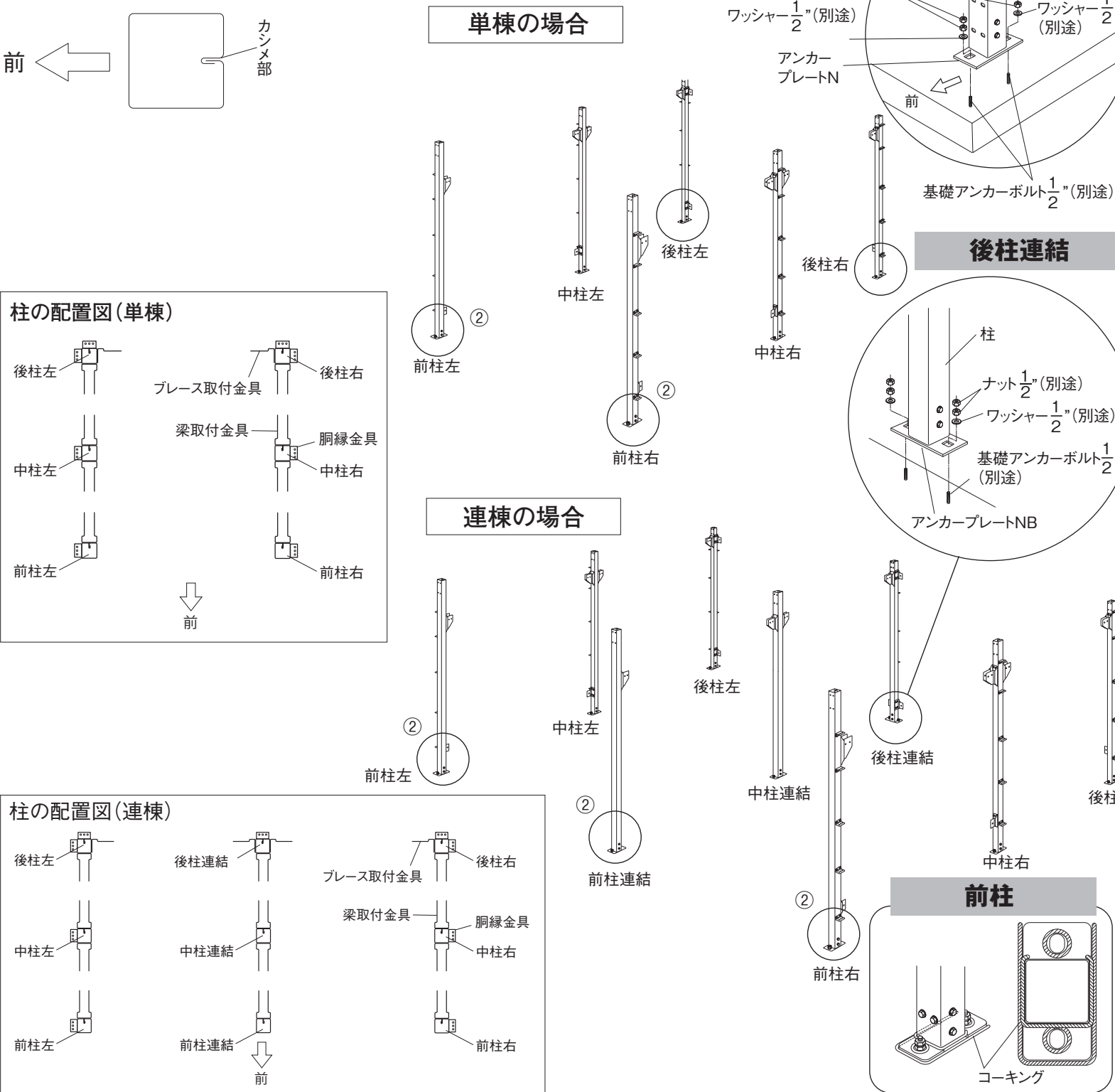


3 柱

- ①柱をアンカーボルトに固定します。(ワッシャー $\frac{1}{2}$ 、ダブルナット $\frac{1}{2}$)

- 柱の向きはカシメ部が後にくるようにします。

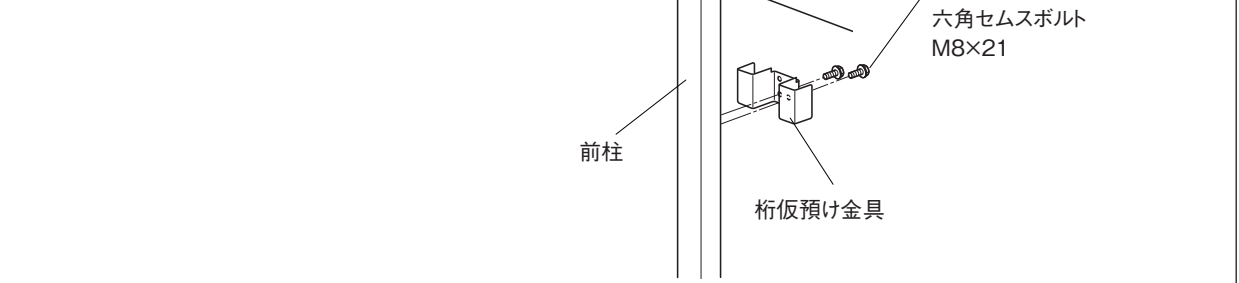
- ②前柱の下部には下図のようにコーキングしてください。



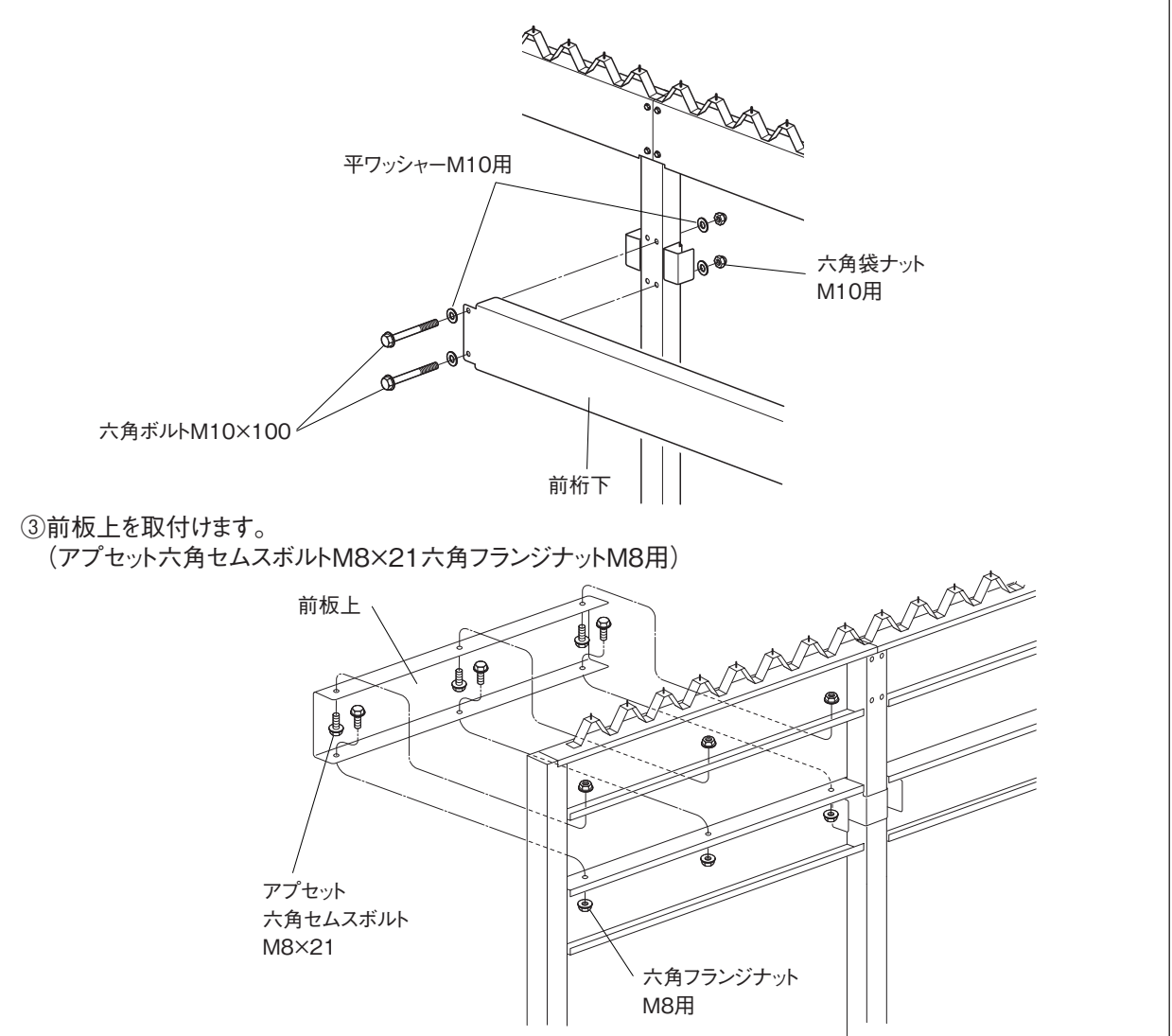
Hタイプの場合

- ①桁仮預け金具を前柱に取付けます。
(アプセット六角セムスボルトM8×21)

- ②前桁下を桁仮預け金具に 仮預けし、取付けます。
(六角ボルトM10×100、六角袋ナットM10用、平ワッシャーM10用)



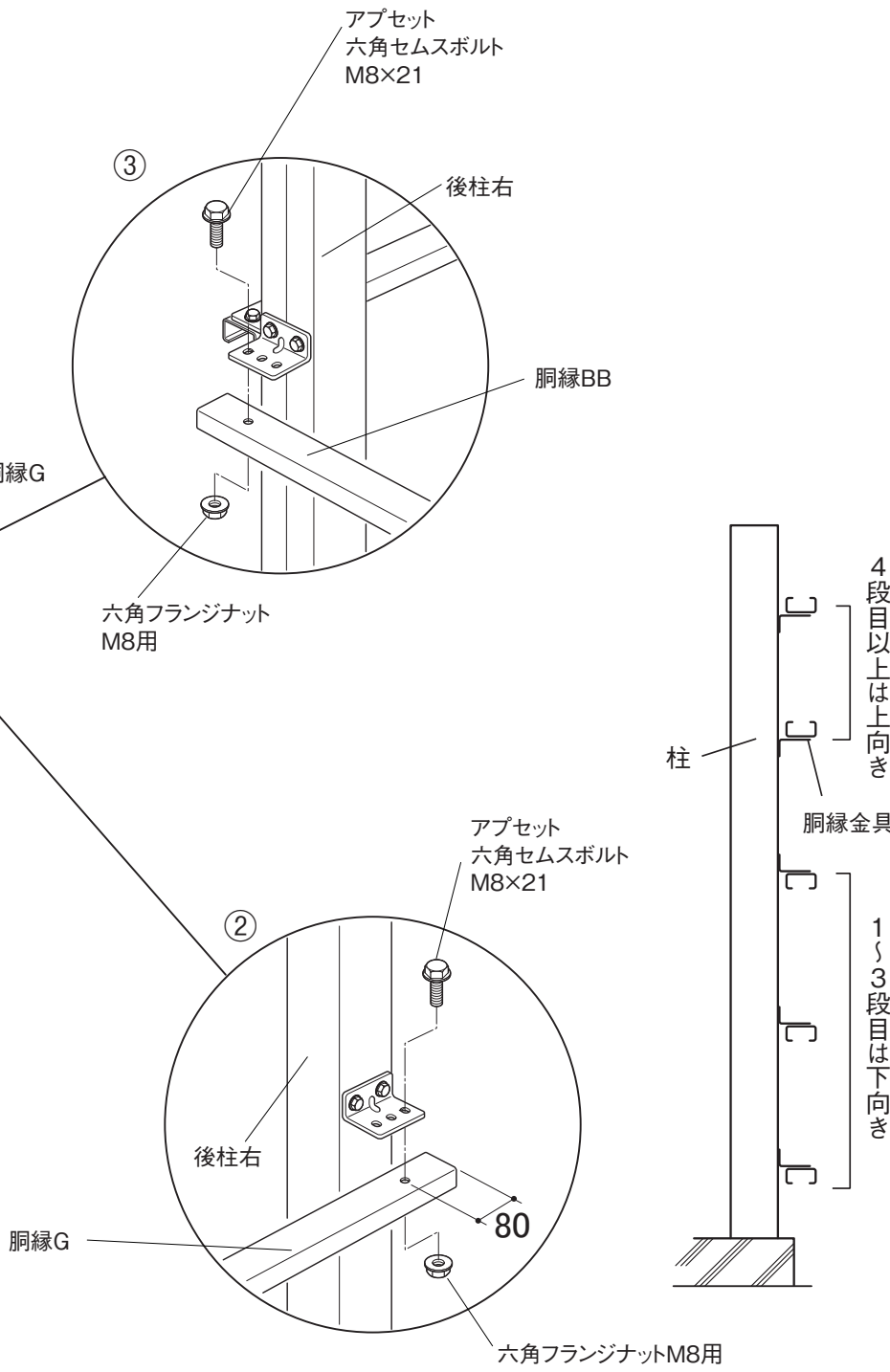
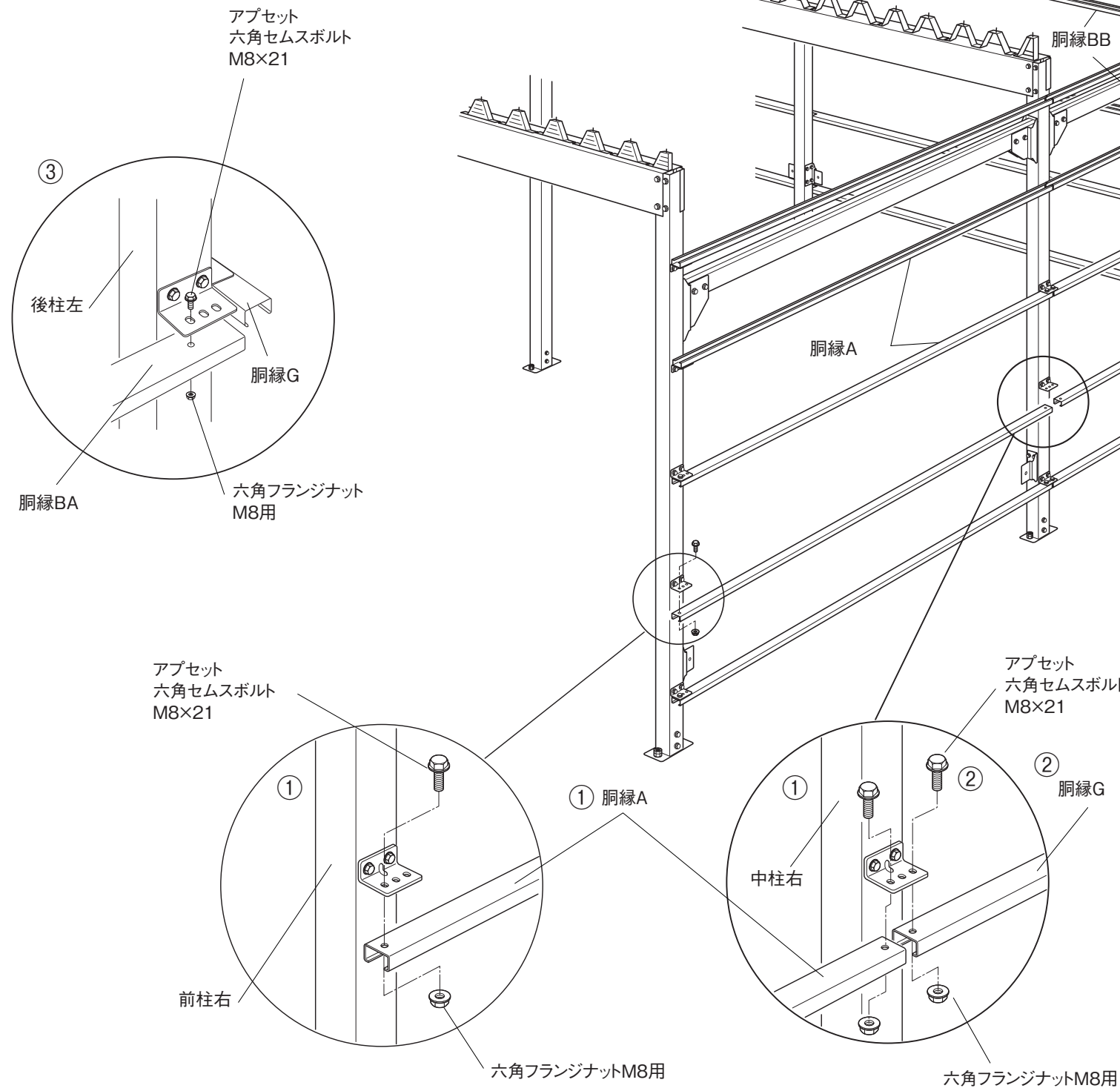
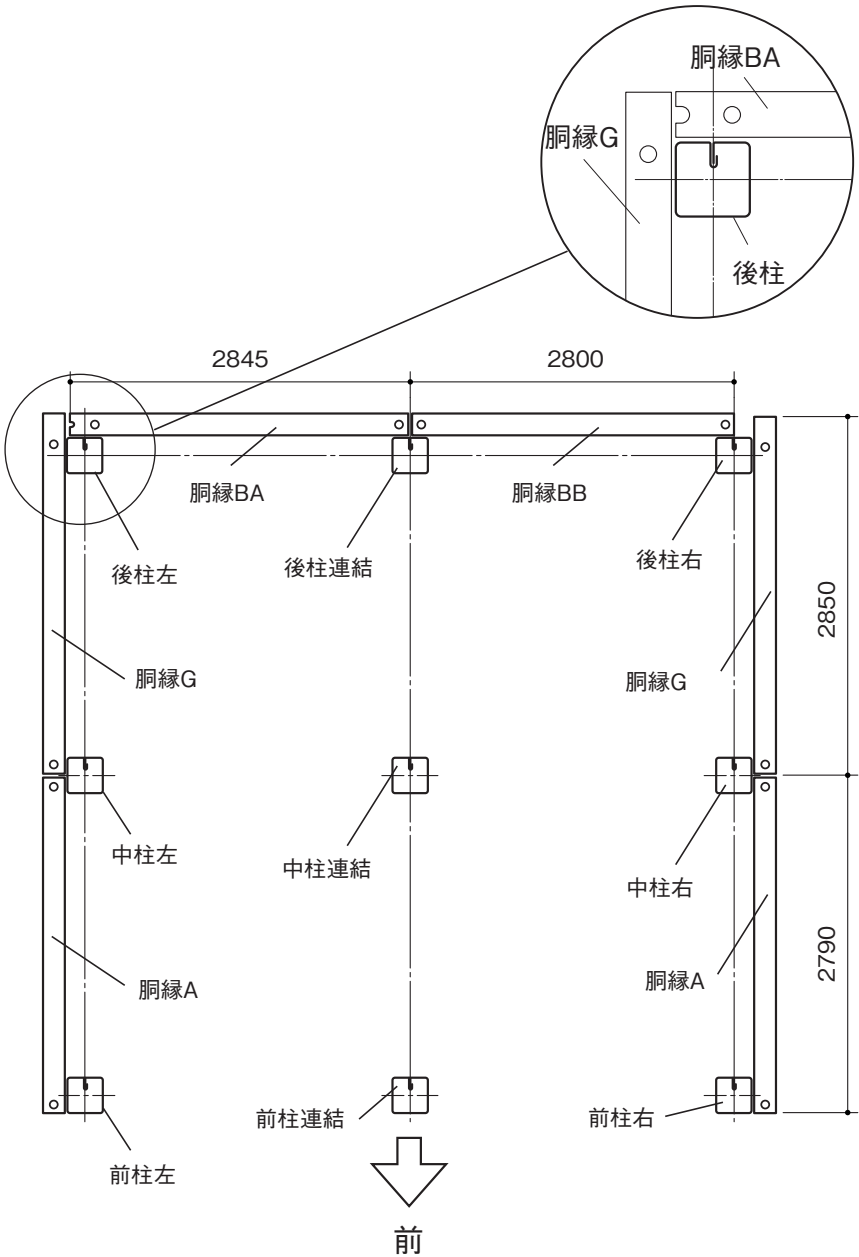
- ③前板上を取付けます。
(アプセット六角セムスボルトM8×21六角フランジナットM8用)



6 胴縁

注意 胴縁は、この時点では仮止めで固定します。
屋根をのせ、建ちを調整してから本締めします。

- ①胴縁Aを側面の前柱と中柱の胴縁金具に取り付けます。
(アプセット六角セムスボルトM8×21、六角フランジナットM8用)
 - ②胴縁Gを側面の中柱と後柱の胴縁金具に取り付けます。
(アプセット六角セムスボルトM8×21、六角フランジナットM8用)
 - ③胴縁BAを後面の胴縁金具に取り付けます。
(連結の場合は、正面向かって左より胴縁BA→胴縁BBの順に取り付けます。)
- この時、半円の切り欠きがある方を左端にくるように取り付けます。
(アプセット六角セムスボルトM8×21、六角フランジナットM8用)
- ※**胴縁A・G・BA・BBは、長さど孔位置が違いますので間違わないように確認してください。**
※**胴縁は、1～3段目は下向きに、4段目以上は上向きに取り付けます。**



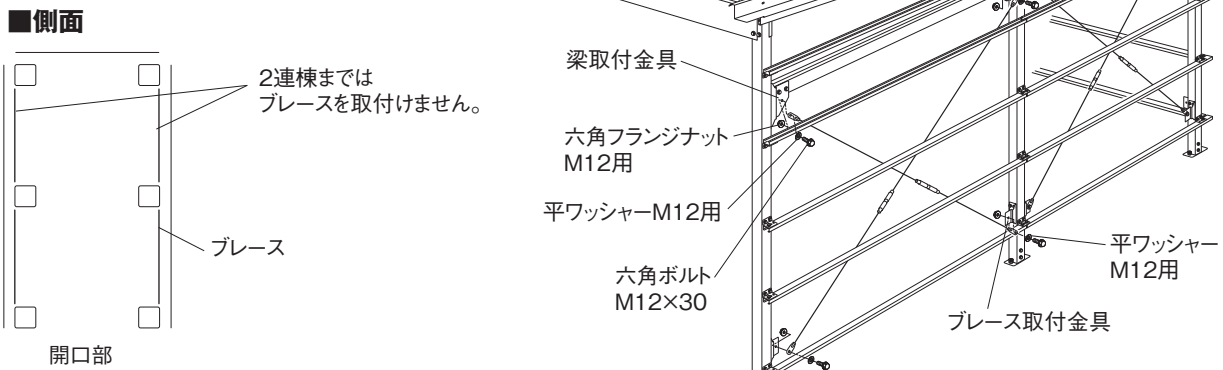
■胴縁本数		
	側面	後面
Lタイプ	4本	4本
Mタイプ	5本	4本
H-FHタイプ	6本	5本

8 ブレース

※**全てのブレースを取り付ける事により、建築基準法上の風荷重・地震荷重に耐える構造となっていますので、必ず全てのブレースを取り付けてください。**

側面ブレースの取付

- ①ブレースを側面前の梁取付金具とブレース取付金具に取付けます。
(六角ボルトM12×30、平ワッシャーM12用、六角フランジナットM12用)
- ※**側面にオプション框ドア・引戸・補助ドアが付く場合は、ブレースの取付け位置を変更する必要がありますので、次の[オプション框ドア・引戸・補助ドアを取付ける場合]を先に確認してください。**



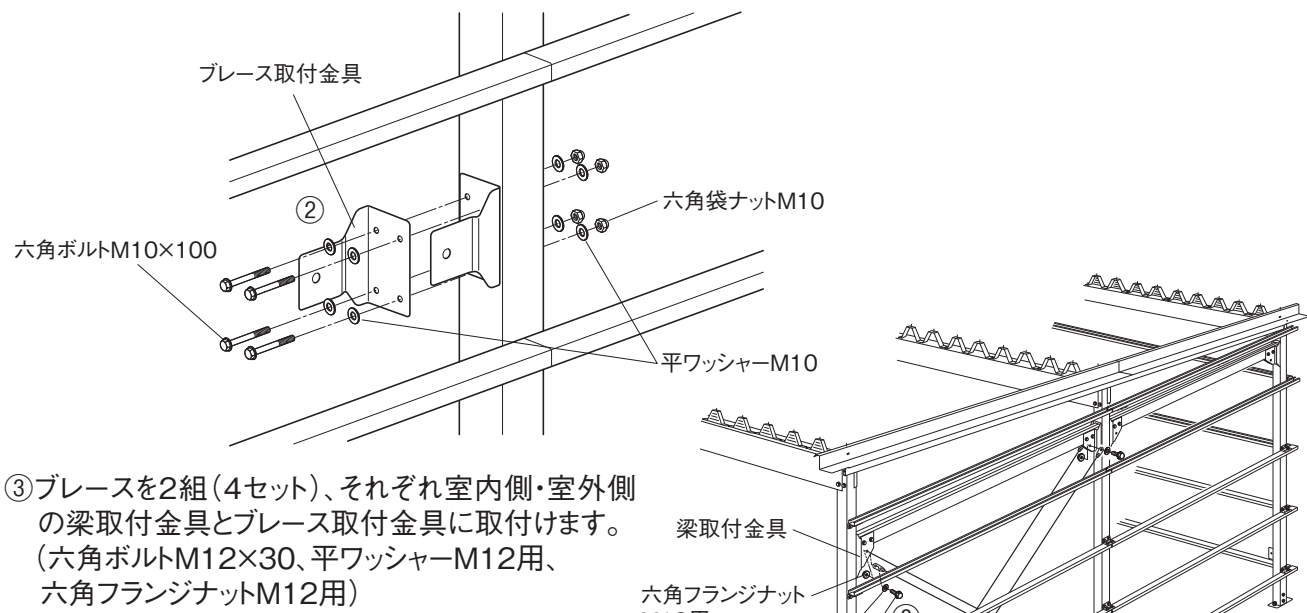
■SOBU-3057型側面ブレース配置表

機種	Lタイプ		Mタイプ		H-FHタイプ		ブレース径
	SA・B-L ℓ=3015mm (ℓ1=1080mm) + (ℓ2=1845mm)	SA・B-M ℓ=3310mm (ℓ1=1080mm) + (ℓ2=2140mm)	SA・B-M ℓ=3310mm (ℓ1=1080mm) + (ℓ2=2140mm)	SA・B-M ℓ=3310mm (ℓ1=1080mm) + (ℓ2=2140mm)	SA・H ℓ=3545mm (ℓ1=1080mm) + (ℓ2=2375mm)	SA・H ℓ=3545mm (ℓ1=1080mm) + (ℓ2=2375mm)	
単様	○	×	○	×	○	×	10.7φ
2連様	○	×	○	×	○	×	10.7φ
3連様	○	○	○	○	○	○	10.7φ
4連様	○	○	○	○	○	○	10.7φ
5連様以上	○	○	○	○	○	○	10.7φ

○:必要 ×:不要

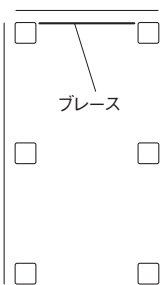
オプション框ドア・引戸・補助ドアを取付ける場合

- ※**側面にオプション框ドア・引戸・補助ドアを取付ける場合、ブレースの取付け位置を変更します。**
(後面にはオプション框ドア・引戸・補助ドアは付きません。)
- ①開口部を取付ける側のブレース取付金具を外します。
 - ②外したブレース取付金具を開口部を取付け側側のブレース取付金具と一緒に向かい合わせで取付けます。又、ブレース取付金具を外したところには、再度ボルトのみを取付け、柱の孔を隠します。
(六角ボルトM10×100、六角袋ナットM10用、平ワッシャーM10用)



後面ブレースの取付

- ①ブレースを柱上部のブレース取付金具と柱下部のブレース取付金具に取付けます。
(六角ボルトM12×30、平ワッシャーM12用、六角フランジナットM12用)



■SOBU-3057型後面ブレース配置表

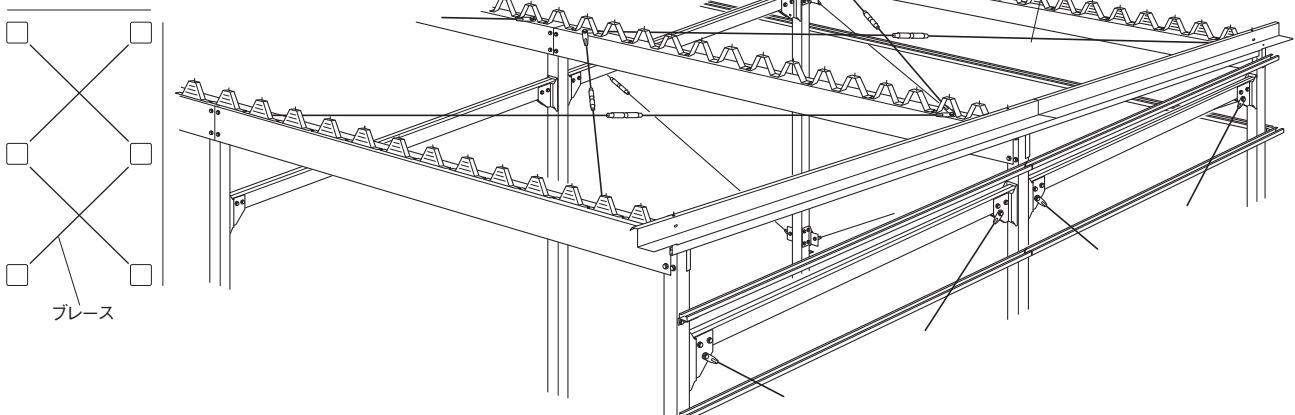
機種	Lタイプ		Mタイプ		H-FHタイプ		ブレース径
	SA・B-L ℓ=3015mm (ℓ1=1080mm) + (ℓ2=1845mm)	SA・B-M ℓ=3310mm (ℓ1=1080mm) + (ℓ2=2140mm)	SA・B-M ℓ=3310mm (ℓ1=1080mm) + (ℓ2=2140mm)	SA・B-M ℓ=3310mm (ℓ1=1080mm) + (ℓ2=2140mm)	SA・H ℓ=3545mm (ℓ1=1080mm) + (ℓ2=2375mm)	SA・H ℓ=3545mm (ℓ1=1080mm) + (ℓ2=2375mm)	
単様	○	○	○	○	○	○	10.7φ
2連様以上	○	○	○	○	○	○	10.7φ

○:必要 ×:不要

屋根ブレースの取付

- ①ブレースを全ての桁間に取付けます。
(六角ボルトM12×30、平ワッシャーM12用、六角フランジナットM12用)

■屋根面



機種	Lタイプ		Mタイプ		H-FHタイプ		ブレース径
	SC ℓ=3670mm (ℓ1=1080mm) + (ℓ2=2400mm)	SC ℓ=3670mm (ℓ1=1080mm) + (ℓ2=2400mm)	SC ℓ=3670mm (ℓ1=1080mm) + (ℓ2=2400mm)	SC ℓ=3670mm (ℓ1=1080mm) + (ℓ2=2400mm)	SC ℓ=3670mm (ℓ1=1080mm) + (ℓ2=2400mm)	SC ℓ=3670mm (ℓ1=1080mm) + (ℓ2=2400mm)	
単様以上	○	○	○	○	○	○	10.7φ

○:必要 ×:不要

中間ブレースの取付

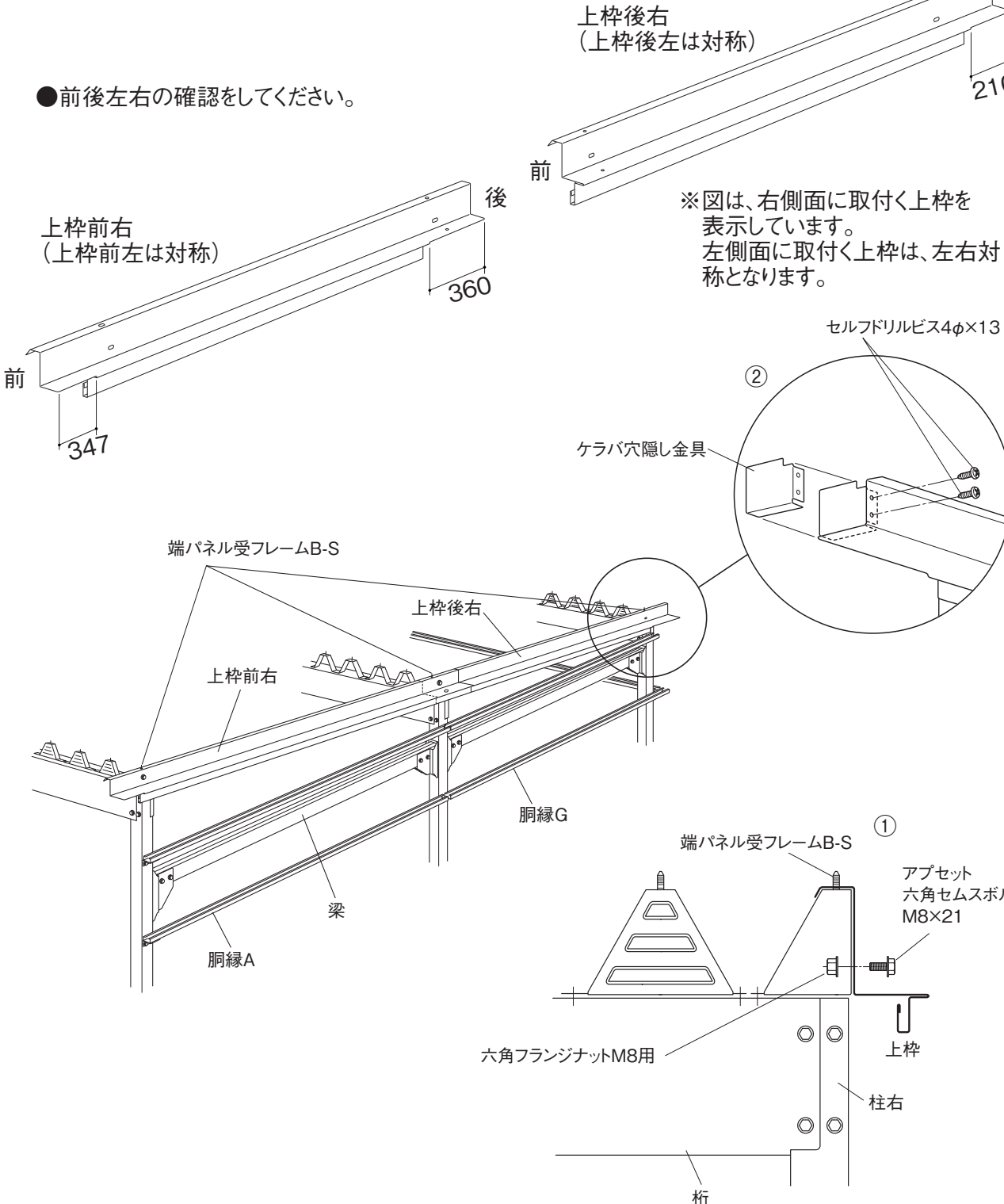
- ※**連様数により強度を確保するため、連結部分にブレースを2組(4セット)取付ける必要があります。必要数は下記の表で確認してください。また、中間ブレースは、ブレースで区切られた面積が均等になるように配置してください。**

■SOBU-3057型連結部ブレース配置表

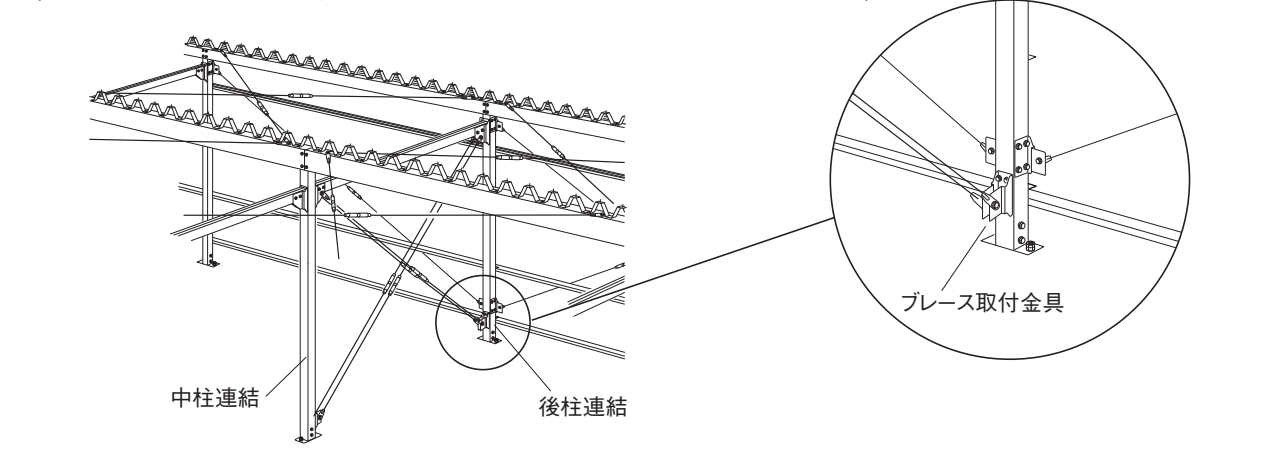
機種	Lタイプ		Mタイプ		H-FHタイプ		ブレース径
	SA・B-L ℓ=3015mm (ℓ1=1080mm) + (ℓ2=1845mm)	SA・B-M ℓ=3310mm (ℓ1=1080mm) + (ℓ2=2140mm)	SA・B-M ℓ=3310mm (ℓ1=1080mm) + (ℓ2=2140mm)	SA・B-M ℓ=3310mm (ℓ1=1080mm) + (ℓ2=2140mm)	SA・H ℓ=3545mm (ℓ1=1080mm) + (ℓ2=2375mm)	SA・H ℓ=3545mm (ℓ1=1080mm) + (ℓ2=2375mm)	
4連様まで	0	0	0	0	0	0	10.7φ
5連様	0	0	4	1	0	0	10.7φ
6連様	4	1	4	1	4	1	10.7φ
7連様	4	1	8	2	4	1	10.7φ
8連様	8	2	8	2	8	2	10.7φ
9連様	8	2	8	2	8	2	10.7φ
10連様	8	2	12	3	8	2	10.7φ
11連様	12	3	12	3	12	3	10.7φ
12連様	12	3	16	4	12	3	10.7φ

7 上枠

- ①上枠後を端パネル受フレームB-Sの剣先に入れ、その上から上枠前を重ねて下図の様に取付けます。
(アプセット六角セムスボルトM8×21、六角フランジナットM8用)
- ②ケラバ穴隠し金具を上枠後に取付けます。
(セルフドリルビス4φ×13)

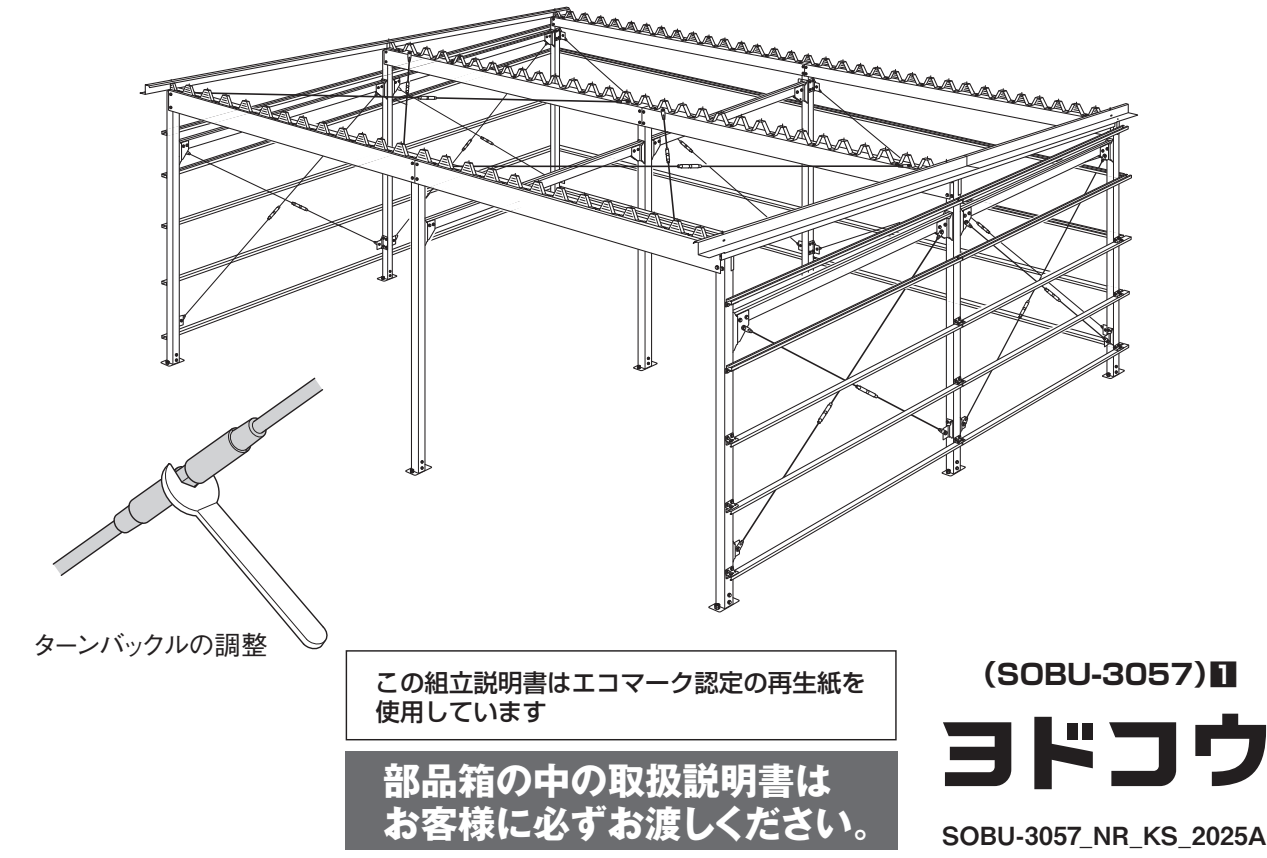


- ①中(前)柱連結・後(中)柱連結の足元にブレース取付金具を向かい合せて取付けます。
(六角ボルトM10×100、六角袋ナットM10用、平ワッシャーM10用)
- ②ブレースを梁取付金具とブレース取付金具に取付けます。
(六角ボルトM12×30、平ワッシャーM12用、六角フランジナットM12用)



ブレースの取付確認

- ①下図の様にターンバックルで調整し、倒れ、通り、対角等を正確に出してください。
(今後の組立に支障がでます。)
- ※**屋根をのせた後も調整が必要です。**
※**柱の傾きが5mmを超えるとシャッターの開閉に、支障をきたす場合がありますのでサゲフリ等で寸法の確認を必ず行なってください。**



(SOBU-3057)Ⅱ

ヨドコウ

SOBU-3057_NR_KS_2025A

